

2020年6月期 第3四半期 決算補足説明資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス
2020年5月15日



1. 第3四半期 決算概要
2. 新型コロナウイルス感染症への対応と
今後の見通し
3. 参考データ

1. 第3四半期 決算概要

第3四半期 ハイライト

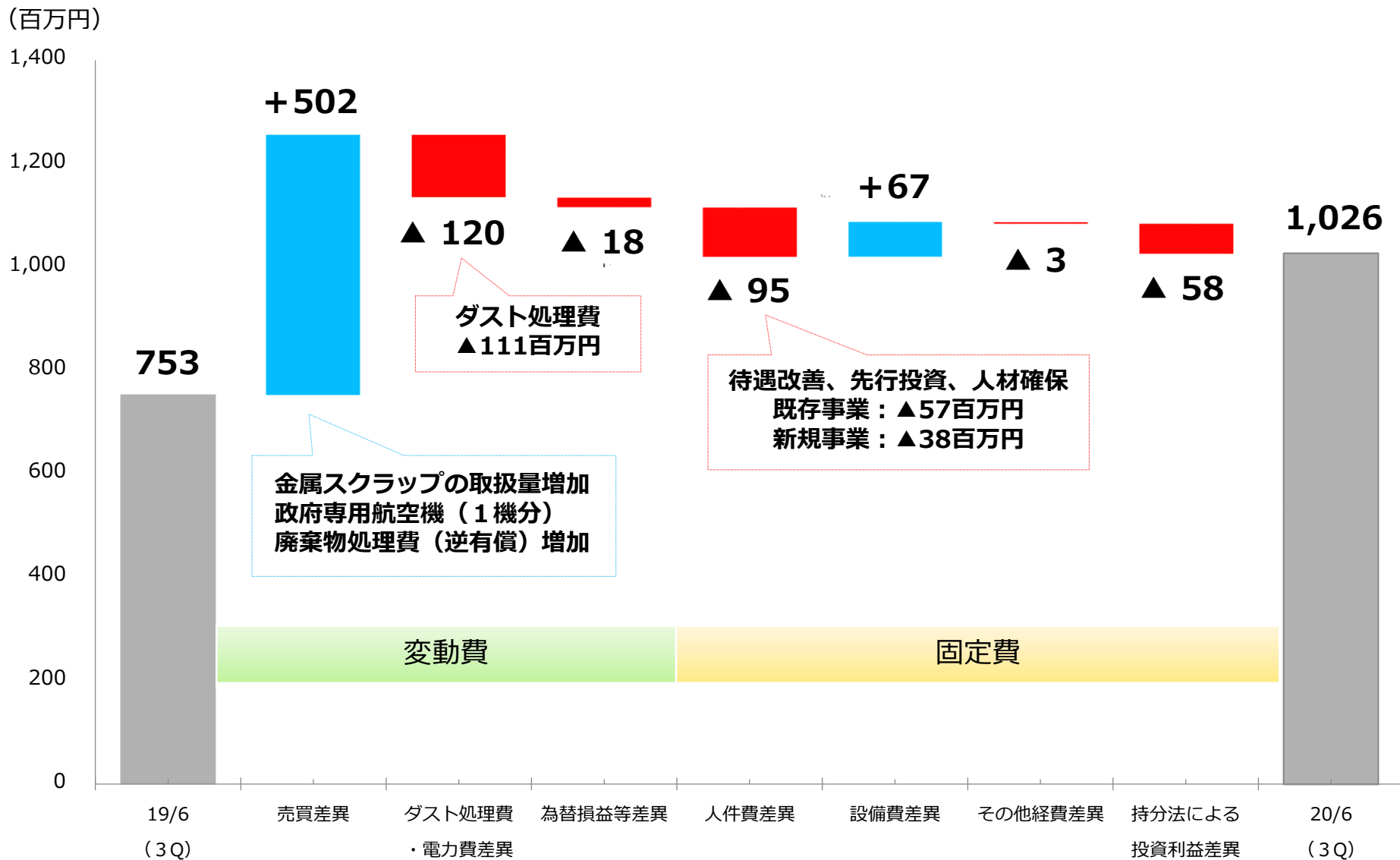
連結業績

売上高	27,294百万円	(前年同期比 1.4%増)
営業利益	894百万円	(前年同期比 61.3%増)
経常利益	1,026百万円	(前年同期比 36.3%増)
四半期純利益	750百万円	(前年同期比 52.7%増)

主要TOPICS

- 鉄スクラップ価格（東京製鐵田原海上特級価格）の、平均価格が22,182円（前年上期は34,031円）であったが、扱い量を増やすことで売上を確保した
- 「持続可能社会実現の一翼を担う」のミッションステートメントのもと、「既存事業の深耕」、「新たな柱の構築」、「基盤の強化」を推進
- 資源循環事業の新規事業関連分 経常損失1.6億円（VOLTA、P2P等）
- 設備投資7.7億円（支払ベース）
- リチウムイオン2次電池等リサイクルライン稼働

連結経常利益差異分析

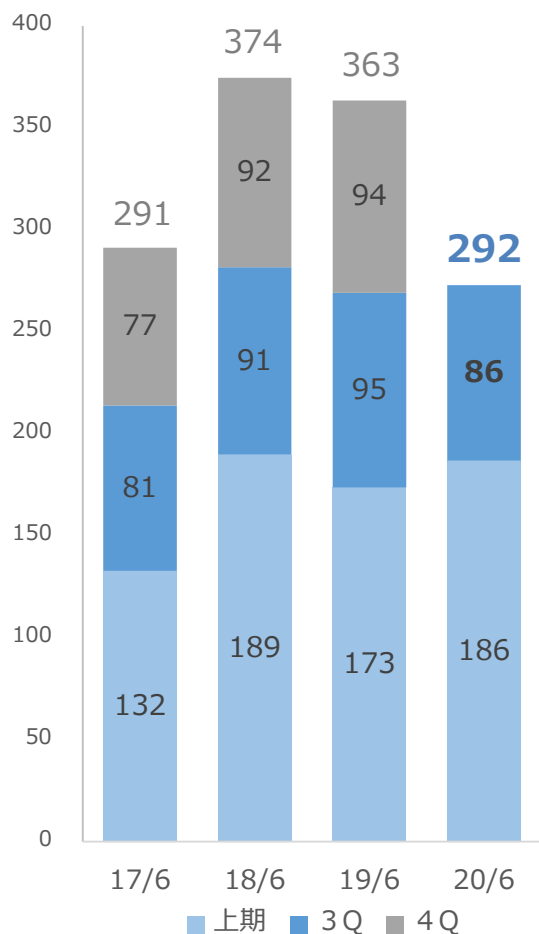


連結業績推移



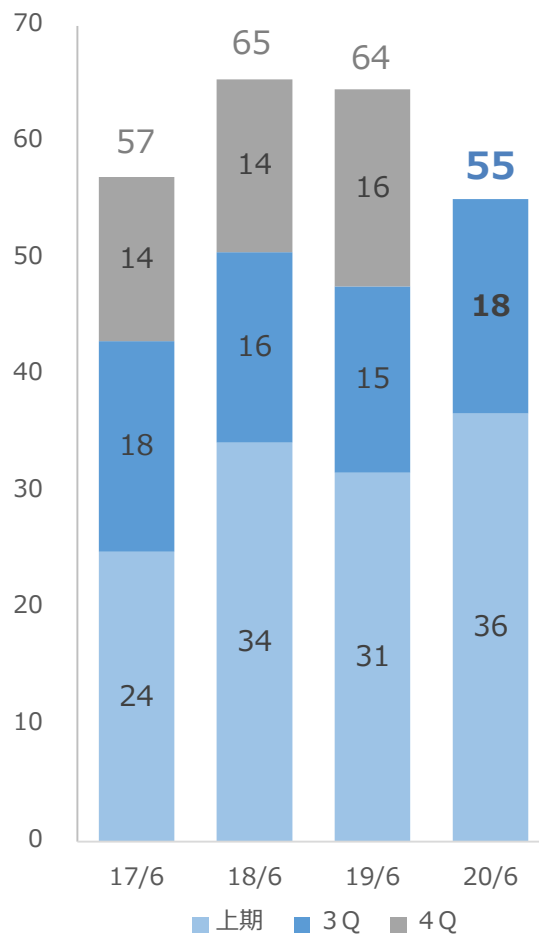
売上高 前年同期比 1.4%増

(単位：億円)



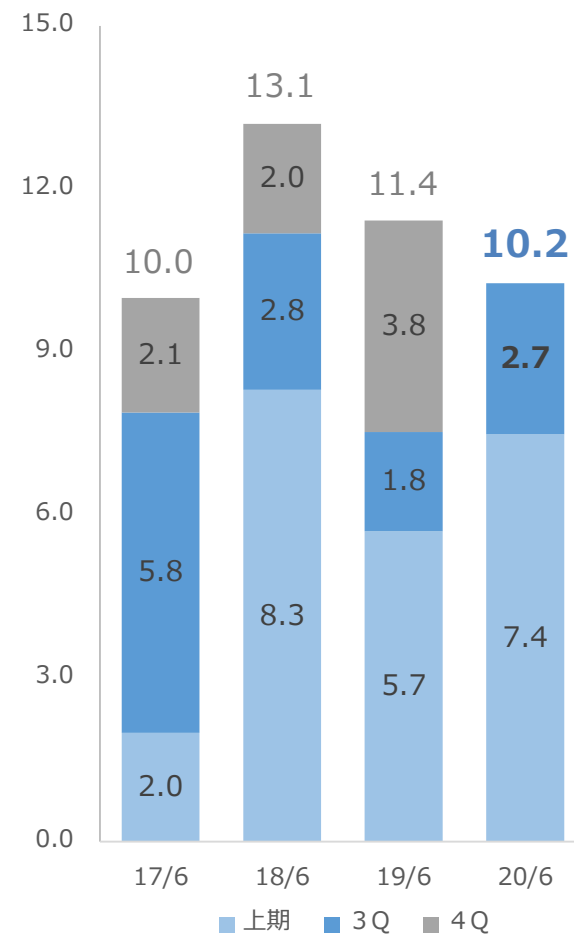
売上総利益 前年同期比 15.8%増

(単位：億円)



経常利益 前年同期比 36.3%増

(単位：億円)



連結貸借対照表概要



(百万円)

	2019年 6月末	2020年 3月末	増減額		2019年 6月末	2020年 3月末	増減額
流動資産	11,152	11,221	69	流動負債	5,172	5,871	699
固定資産	8,607	9,226	619	固定負債	3,025	2,441	▲ 584
（有形固定資産）	6,130	6,558	427	負債合計	8,197	8,313	115
（無形固定資産）	89	75	▲ 14	純資産	11,562	12,135	573
（投資その他の資産）	2,386	2,592	205	（株主資本）	11,166	11,727	561
資産合計	19,759	20,448	688	負債純資産合計	19,759	20,448	688

主要TOPICS

- 流動資産（現金及び預金1,243百万円、受取手形及び売掛金449百万円、商品及び製品▲1,447百万円、その他流動資産▲215百万円）
- 固定資産（機械装置及び運搬具773百万円、建物及び構築物290百万円、建設仮勘定▲323百万円）
- 流動負債（短期借入金860百万円）
- 固定負債（長期借入金▲596百万円）
- 自己資本比率 57.6%（2019年6月末比0.9%増）

第3四半期 セグメント別業績概要



(百万円)

売上高+	2019年6月期 第3四半期累計	2020年6月期 第3四半期累計		前期比
	実績	実績	構成比	増減率
連結	26,917	27,294	100.0%	1.4%
資源循環事業	9,591	8,609	29.0%	▲ 10.2%
グローバル資源循環事業	16,090	16,067	54.1%	▲ 0.1%
中古自動車関連事業	4,575	4,824	16.2%	5.4%
その他※	331	222	0.7%	▲ 32.8%
調整額	▲ 3,672	▲ 2,429	-	-

セグメント利益	2019年6月期 第3四半期累計	2020年6月期 第3四半期累計		前期比
	実績	実績	構成比	増減率
連結	753	1,026	100.0%	36.3%
資源循環事業	643	458	40.4%	▲ 28.7%
グローバル資源循環事業	171	571	50.3%	232.8%
中古自動車関連事業	▲ 0	83	7.4%	-
その他※	50	22	2.0%	▲ 56.0%
調整額	▲ 111	▲ 109	-	-

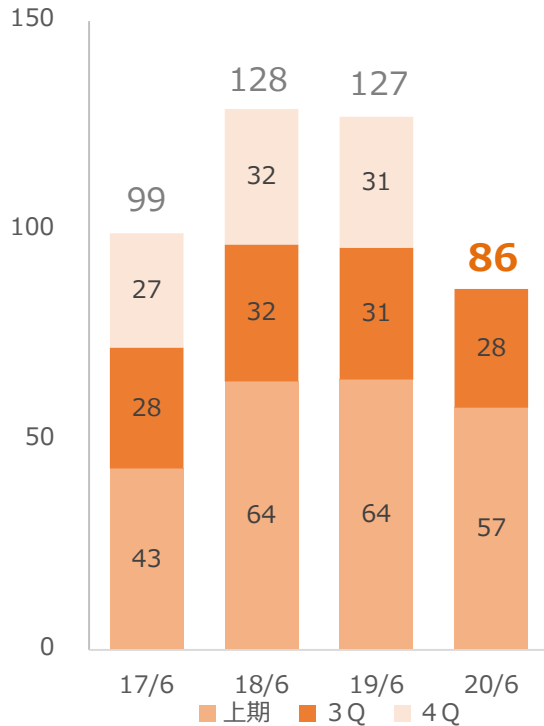
※その他には、2018年12月までの(株)E 3実績を含む

セグメント別実績【資源循環】

売上高

前年同期比
10.2%減

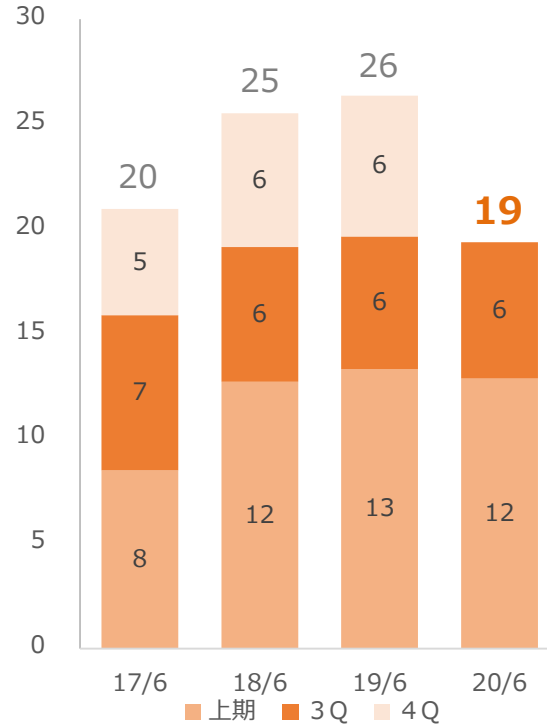
(単位：億円)



売上総利益

前年同期比
1.3%減

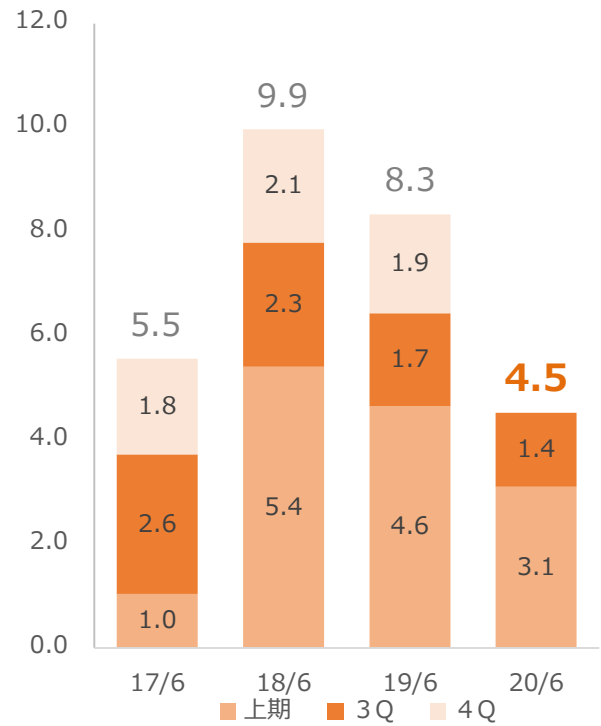
(単位：億円)



経常利益

前年同期比
28.7%減

(単位：億円)



- 鉄・非鉄金属スクラップ価格が弱含みに推移し収益を圧迫。
- 最終処分場等の廃棄物の処理料金値上げや、受入の制限が発生。
- 当グループも廃棄物の受入を制限し取扱量が減少。価格転嫁により収益は確保。
- 新規事業のLiBリサイクル関連の固定費増加等により収益を圧迫。
- 新規事業（VOLTA、P2P他） 経常損失1.6億円（前年同期0.6億円）

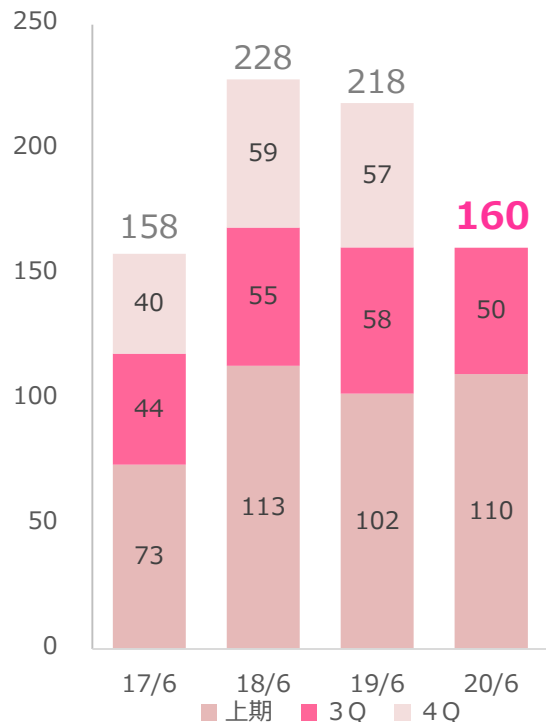
セグメント別実績【グローバル資源循環】

売上高

前年同期比

0.1%減

(単位：億円)

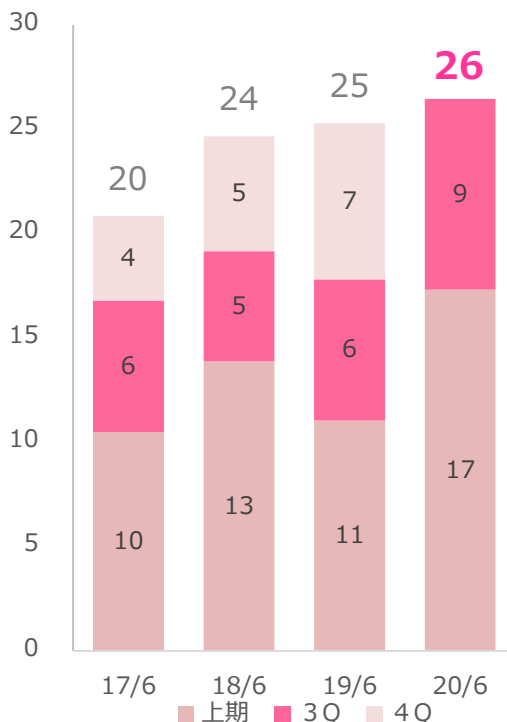


売上総利益

前年同期比

48.5%増

(単位：億円)

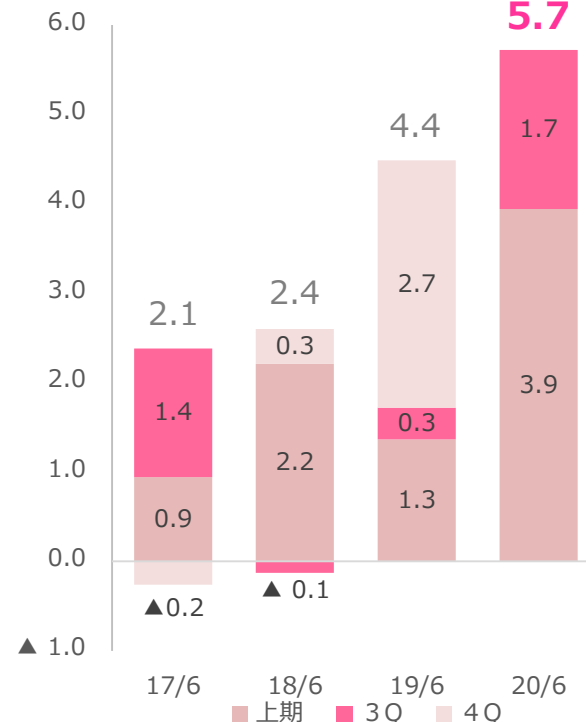


経常利益

前年同期比

232.8%増

(単位：億円)



- 鉄・非鉄金属スクラップ価格が弱含みに推移する中で相場の変動を活用。
- 集荷ヤード拡張、国内外の需要取り込み、輸送方法の工夫により取扱量増・利益増。
- 日本国政府専用航空機の販売（2機の内残り1機分）
- 木質系バイオマス燃料（PKS）の、日本マーケットへの初出荷を達成。

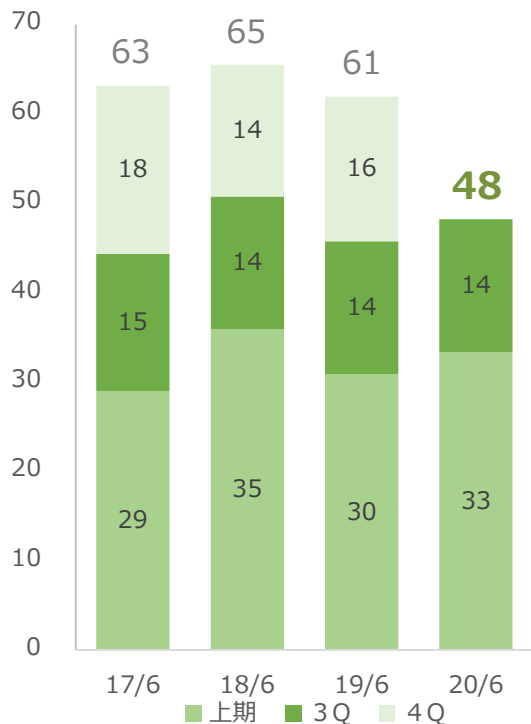
セグメント別実績【中古自動車関連】

売上高

前年同期比

5.4%増

(単位：億円)

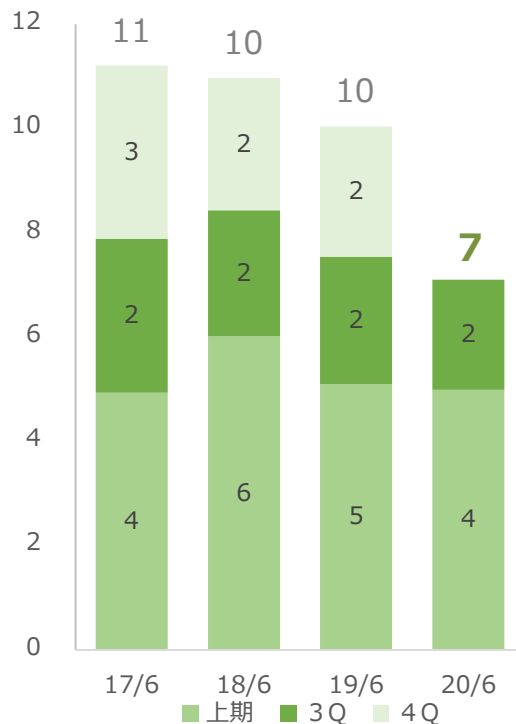


売上総利益

前年同期比

5.9%減

(単位：億円)

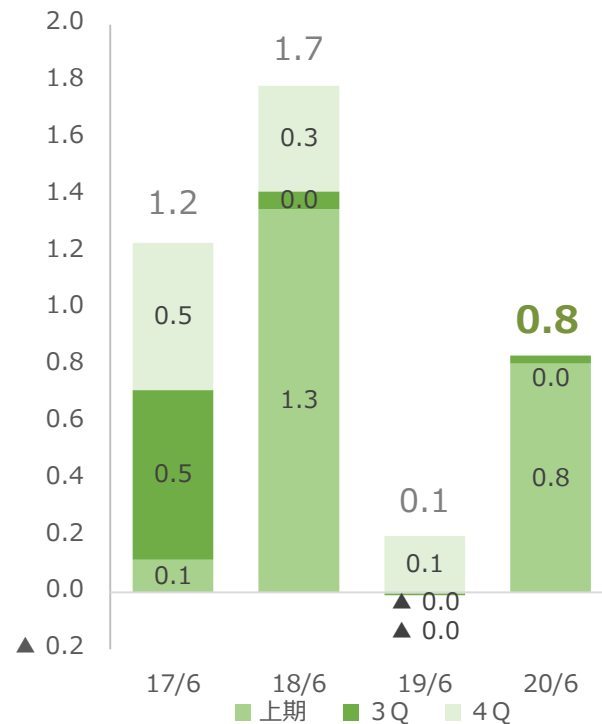


経常利益

前年同期比

0.8億円増

(単位：億円)



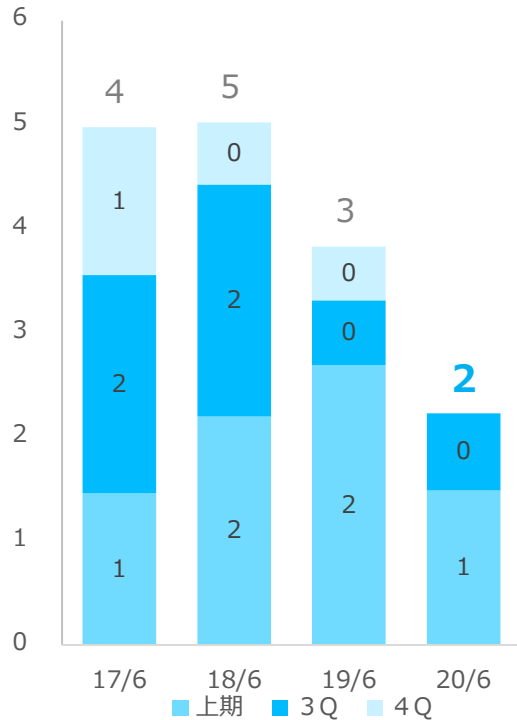
- 主要輸出先国の1つであるチリでの中古車需要は弱含みで推移。
- 東南アジア向け中古トラックの販売が増加。
- ウガンダでの中古車販売・整備事業の収益が改善。
- ドバイ向けを中心とした物流代行サービスの扱い量が回復。
- 中古車積込みヤード縮小等による固定費の削減。
- 3月から新型コロナウイルスの影響でチリ、ウガンダでの中古車・中古エンジンの販売減少。

セグメント別実績【その他】

売上高

前年同期比
32.8%減

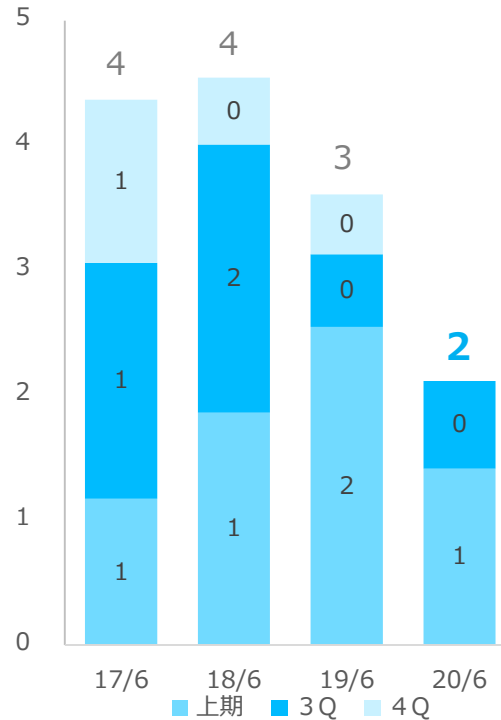
(単位：億円)



売上総利益

前年同期比
32.4%減

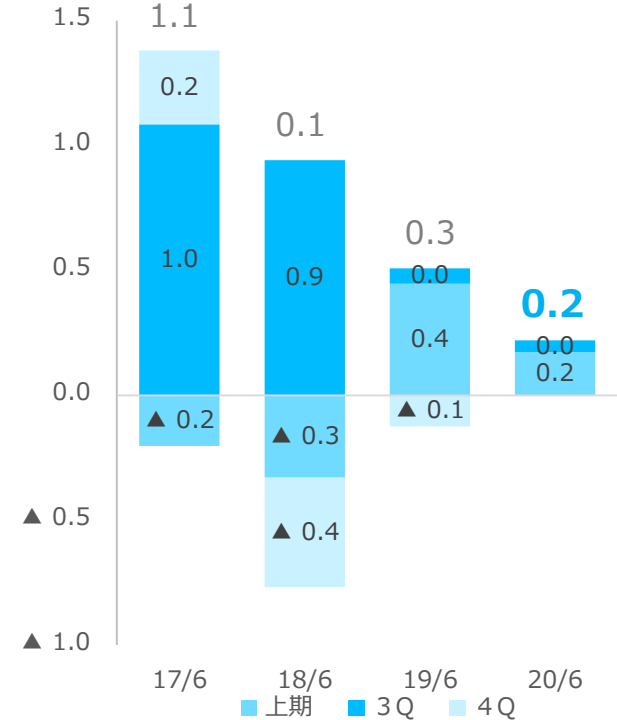
(単位：億円)



経常利益

前年同期比
56.0%減

(単位：億円)



《環境経営コンサルティング事業》

- C D P 回答及び評価向上支援等の継続受注案件が順調に進捗。
- 新たに T C F D (気候変動関連財務情報開示タスクフォース) 対応支援等のサービスを開始。一方で体制強化による人件費の増加。

《障がい福祉サービス事業》

- 静岡県富士宮市に就労継続支援 B 型事業所を開設 (8月) に伴う人件費の先行投資。

※その他には、2018年12月までの(株)E 3実績を含む

2. 新型コロナウイルス感染症への 対応と今後の見通し

新型コロナウイルス感染症への対応

手元流動性の確保（2020年4月～）

長期借入およびコミットメントライン契約により新たに65億円を確保

新型コロナウイルスの感染拡大により経済状況の先行き見通しが今後急激に悪化することも想定し、最大リスクへの対応策として手元流動性を高める。

→4月：長期借入15億円、5月：長期借入30億円、コミットメントライン20億円

固定費の削減 / 成長投資の継続

家賃、旅費交通費、会議費等のあらゆる経費をゼロベースで見直し

一般管理費のより一層の削減に取り組むことで、収益の減少および資金の流出を最小限に抑え、安全性を確保する。一方で成長事業へ資源を集中し、成長投資を継続実施する。

役員報酬の自主返納

代表取締役	役員報酬月額の30%を返納
常勤取締役	役員報酬月額の15%を返納
執行役員、相談役	役員報酬月額の10%を返納
子会社代表取締役	役員報酬月額の10%を返納
子会社取締役	役員報酬月額の5%を返納

対象期間：2020年5月～6月（2ヵ月間）

感染拡大防止への取り組み

新型コロナウイルス対策行動基準を制定（従業員および関係者への周知）

《一部を抜粋》

- ① 公共交通機関で通勤する社員には在宅勤務を推奨。公共交通機関を利用しない社員も可能な限り在宅勤務とローテーション出勤を推奨。会社はそのための環境整備に配慮する。
- ② 運搬車両による引き取り業務以外、不要不急の外出及び出張、会食は行わない。
- ③ 休業手当および罹患・罹患の可能性がある場合の会社指示による自宅待機補償。

国内

《資源循環事業》

- 顧客各社において生産調整や休業措置などが徐々に広まり、物量が減少傾向。
- 外出自粛要請により家庭の片づけによる不要物の収集・運搬の相談が増加傾向。
- 万が一当りサイクル施設に罹患者が発生した場合に備え、受入廃棄物の再委託の準備を検討。
- 解体工事の一時的な遅れが発生。4月以降、徐々に回復の兆し。

《その他》

- コンサルティング案件の実施延期が発生。4月末より複数のコンサルティング案件が再開。
- 障がい福祉サービスにおいては一部で在宅訓練を実施。通所できない方々へのサポート開始。

海外

《グローバル資源循環》

- 鉄スクラップ：主要販売先である韓国、台湾、ベトナムは特に影響無し。販売より製造業減産に伴う発生量減少に懸念有。
- 非鉄スクラップ：インドのロックダウンにより一部品種で販売に影響あるが、中国の回復によりほぼ通常通り。マレーシアに関してもロックダウン中ではあるが港は稼働しており商内には問題無し。
- 古紙：中国等海外より段ボール材の引き合いが増加し価格が上昇傾向。

《中古自動車関連》

- 海外現地法人のあるチリで3月下旬から営業拠点地域において自主規制が要請され販売活動停止、ウガンダでは3月末より徒歩以外の移動を禁止する実質的な外出禁止令が発令。売上減少・収支悪化が避けられない状況。

以上の状況下において、通期における業績予想につきましては、新型コロナウイルス拡大の影響により、徐々に不確実性が高まっております。現時点では、2019年8月9日に公表いたしました業績予想を据え置いておりますが、新型コロナウイルスが業績に及ぼす影響については注視し続け、今後、業績予想の大幅な修正が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2020年6月期業績見通し（連結）



(百万円)

	2019年6月期				2020年6月期						
	上期	第3四半期		通期	上期	第3四半期			通期		
	実績	実績	累計	実績	実績	実績	前期比	累計	前期比	予想	前期比
売上高	17,376	9,540	26,917	36,336	18,691	8,603	▲9.8%	27,294	1.4%	36,571	0.6%
売上総利益	3,165	1,598	4,763	6,454	3,674	1,841	15.2%	5,515	15.8%	7,440	15.3%
営業利益	418	135	554	839	660	233	72.2%	894	61.3%	981	16.9%
経常利益	570	182	753	1,141	748	277	52.0%	1,026	36.3%	1,251	9.6%
税金等調整前 当期純利益	526	232	758	1,138	807	299	28.9%	1,106	45.8%	1,258	10.5%
当期純利益※	314	177	491	786	549	200	13.1%	750	52.7%	892	13.4%
限界利益	3,276	1,628	4,904	6,681	3,554	1,712	5.2%	5,267	7.4%	7,184	7.5%
EBITDA※	693	311	1,005	1,482	925	388	24.5%	1,313	30.7%	1,634	10.2%
純粋固定費※	2,834	1,496	4,330	5,786	2,892	1,469	▲1.8%	4,362	0.7%	6,114	5.7%
ROE	-	-	-	7.1%	-	-	-	-	-	7.7%	8.4%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

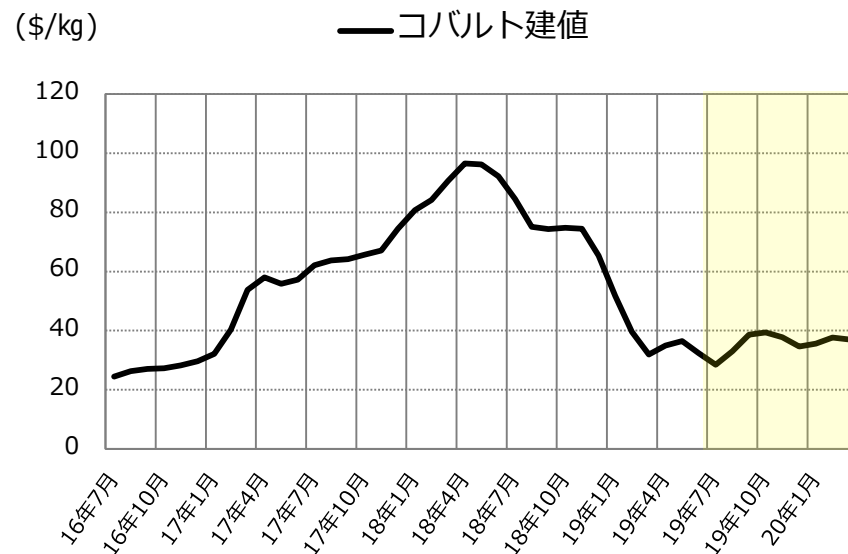
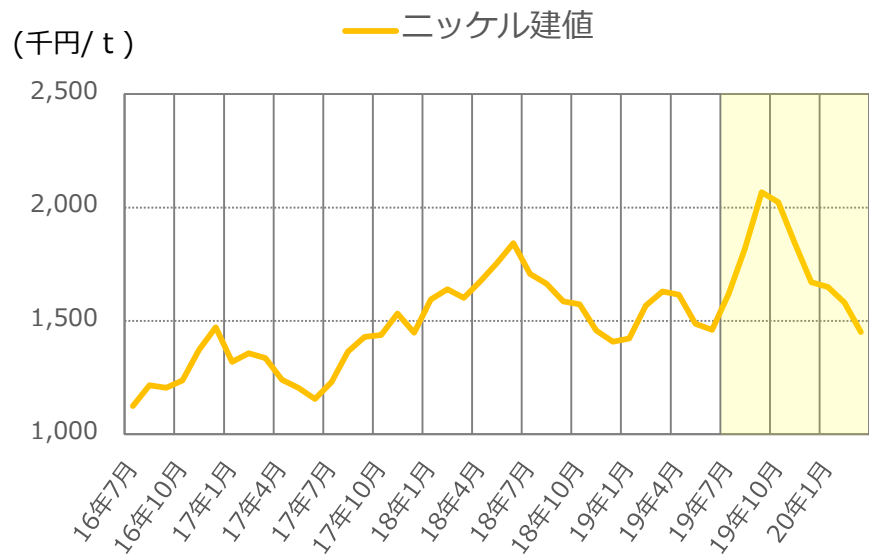
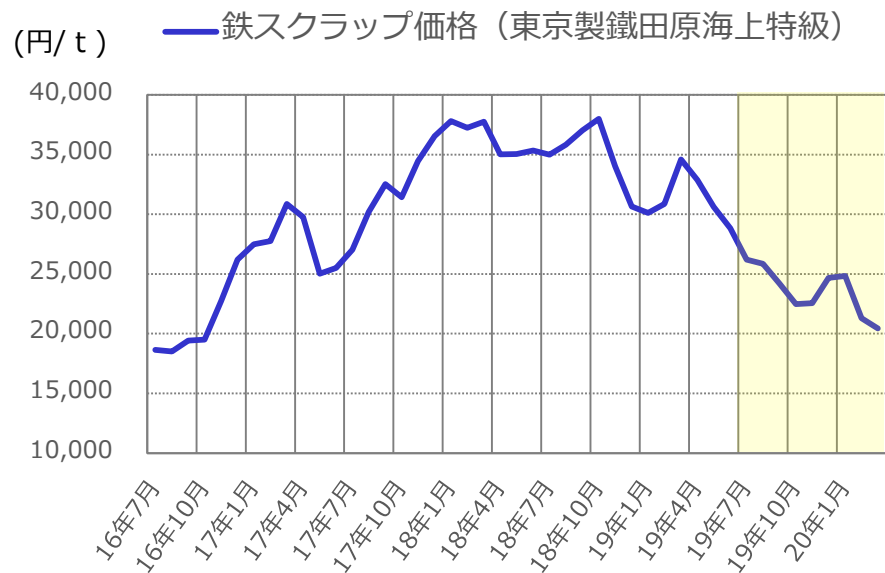
※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

※純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

通期における業績予想につきましては、新型コロナウイルス拡大の影響により、徐々に不確実性が高まっております。現時点では、2019年8月9日に公表いたしました業績予想を据え置いておりますが、新型コロナウイルスが業績に及ぼす影響については注視し続け、今後、業績予想の大幅な修正が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

3. 参考データ

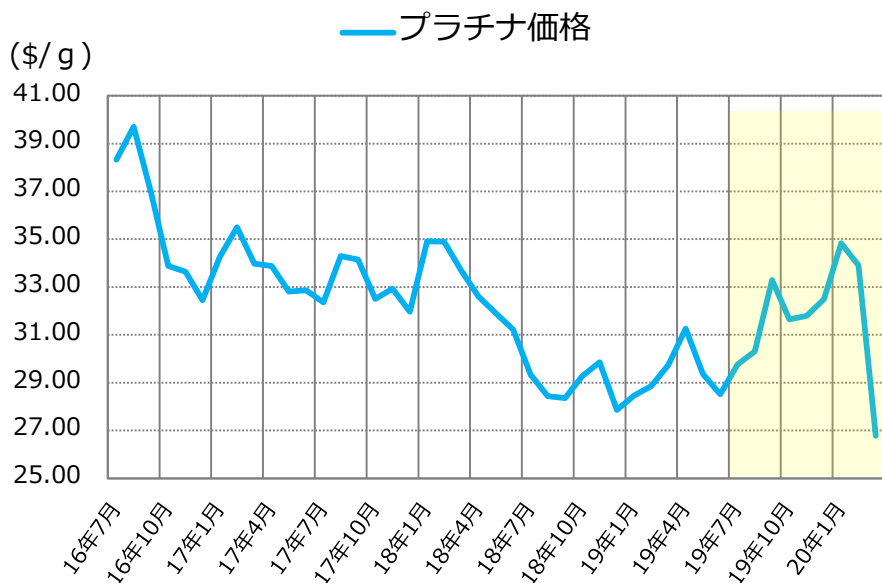
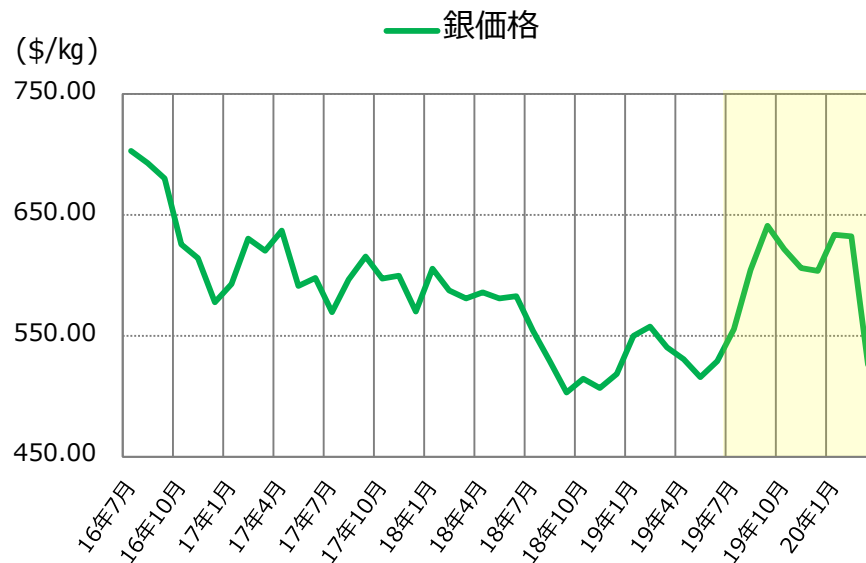
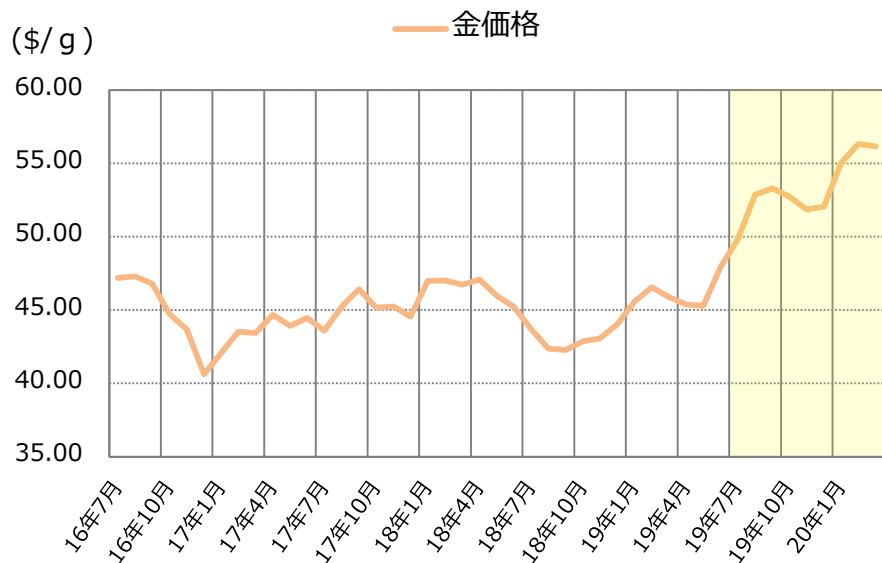
相場推移①



(出所) 東京製鐵(株)、(株)日本経済新聞社

(出所) 一般社団法人日本電線工業会、IRUNIVERSE(株)

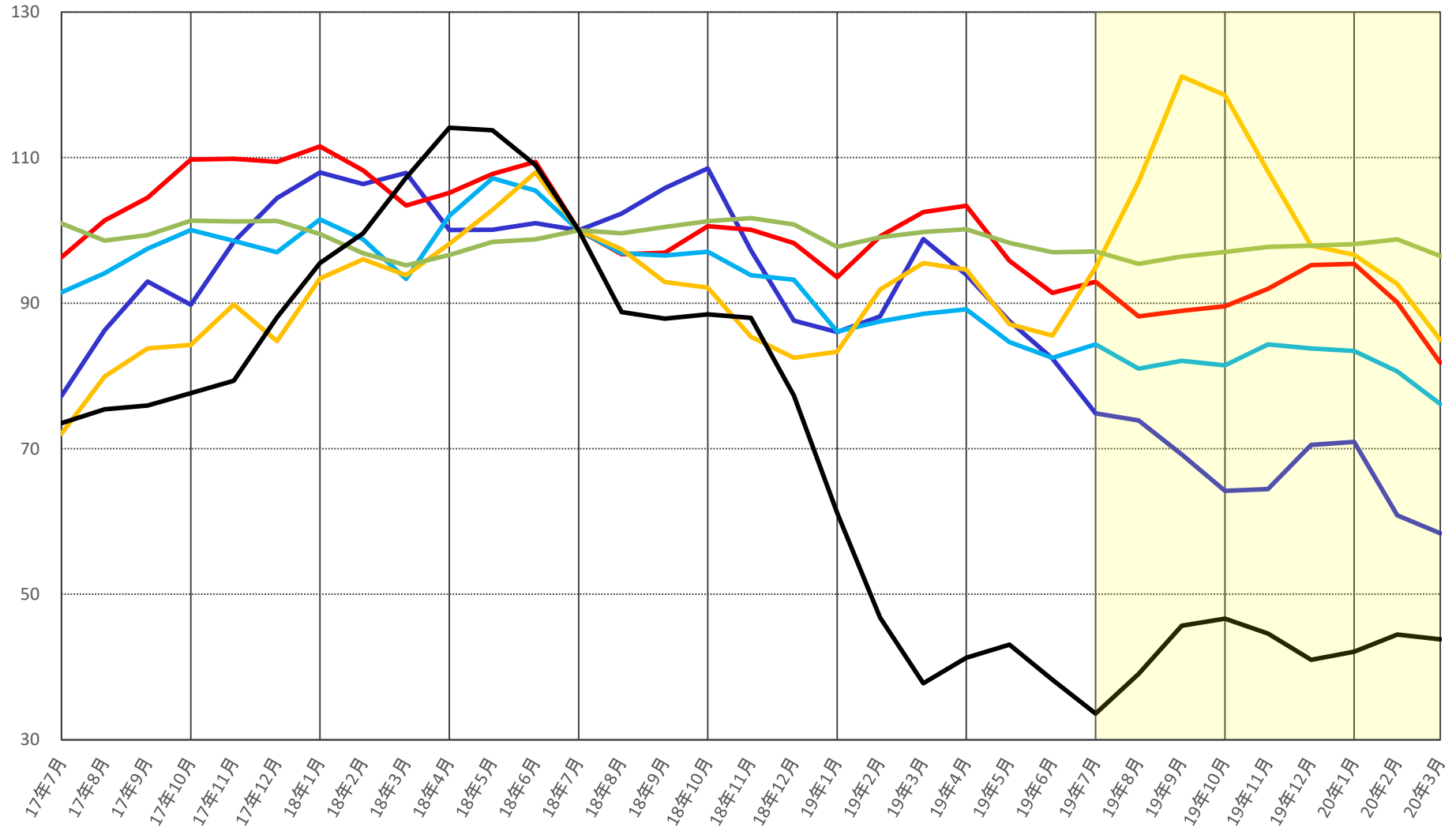
相場推移②



相場推移③

金属相場の推移 (INDEX推移 2018年7月を100とする)

鉄スクラップ価格 電気銅建値 アルミ建値 ニッケル建値 ドル/円 為替 コバルト価格



(出所) 東京製鐵(株)、(株)日本経済新聞社、一般社団法人日本電線工業会、(株)日刊産業新聞社、IRUNIVERSE(株)

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

株式会社エンビプロ・ホールディングス 経営企画部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>